

- 第1講 序論：なぜアジア経済共同体なのか：李榮善教授（9月5日）
- 第2講 EUとジャンモネー（Jean Monnet）、地域共同体形成の事例：朴濟勳仁川大学教授（9月12日）
- 第3講 東アジア国家の地政学と太平洋時代：文政仁延世大学教授（9月19日）
- 第4講 アジアのアイデンティティと文化：全寅初延世大学名誉教授（9月26日）
- 第5講 アジア地域経済統合の現在と未来：金興鍾 KIEP 研究委員（10月10日）
- 第6講 日本と東アジア共同体：鄭成春 KIEP 研究委員（10月17日）
- 第7講 中国と東アジア共同体：吳承熱韓国外語大学教授（10月24日）
- 第8講 東アジア共同体、日本の見解：Okonogi Masao 慶応大学教授（10月31日）
- 第9講 アジア経済共同体と通貨統合：尹徳龍 KIEP 前任研究委員（11月7日）
- 第10講 東アジア共同体と韓国・北朝鮮、そして統一：金秉淵 Seoul National University 教授（11月14日）
- 第11講 東アジア共同体、中国の見解：金慶一（11月21日）
- 第12講 アジア共同体と市民社会の役割－ワンアジアクラブの事例：鄭俊坤ワンアジア首席研究員（11月28日）
- 第13講 One Asia Sato 理事長の講義と学生の発表及び討論（12月5日）
- 第14講 結論－アジア共同体のビジョンと韓国の役割：李濟民延世大学教授（12月12日）
- 第15講 期末試験